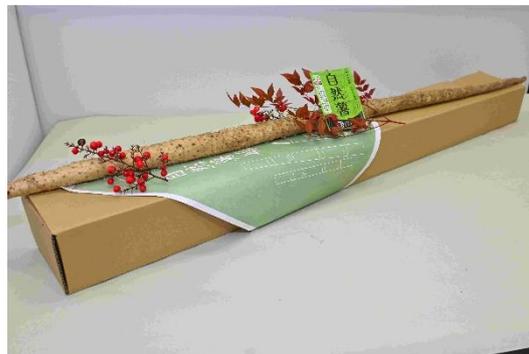


## 自然薯に魅せられて—新たな挑戦— (株式会社ルックス)

令和7年12月

### <法人の概要>

所在地：大分県竹田市  
設立：平成27年5月  
資本金：300万円  
農業売上高：200万円  
役員：5名（うち農業従事者2名）  
経営面積：1.5ha  
作付作物：自然薯、大和芋、その他野菜



### <農業参入に至った経緯>

沖縄県でIT関連（システム、アプリ開発等）事業を営む有限会社サイエンス・ソフトウェアを経営する株式会社ルックスの代表の渡久地 政宗氏は、風景が好きで趣味の写真撮影のため、度々訪れていた大分県竹田市に、会社の保養所とするため、空き家バンクを活用して、家を購入することを検討。その際、出会った自然薯を生産（20a）する農家から、高齢のため離農するに当たり、誰かに自然薯の栽培を継承したいとの話を聞き、以前、沖縄県内で遊休農地を借りて耕作していた経験から、農業に強い関心があり、また、社員の自然薯を作ってみたいという一言が後押しとなって、平成27年に大分県竹田市に「株式会社ルックス」を設立。竹田市農業委員会に相談し、離農する農家から農地法第3条許可を受けて農地を借入れ、技術指導を仰ぎながら、自然薯の生産に挑戦することを決めた。



### <農業参入を決めてから営農開始まで>

- ・平成27年に農業参入を決め、同年に営農を開始。
- ・自然薯の栽培技術を習得するため、継承を受けた農家から1年間技術指導を受けて自然薯栽培のノウハウを学び、その後、竹田市久住町で自然薯栽培を手掛けている農家より耕うん作業、管理等の指導・研修を3年間受ける。
- ・参入当初は、自然薯20aの栽培から始め、農地バンクを活用して、現在は1.5haまで拡大。
- ・農業従事者として、地元から2名を通年雇用。

<特徴的な取組>

- ・自然薯、むかご及び自然薯茶（自然薯を乾燥・粉砕したもの）は、「自然薯姫」のブランドで道の駅、ホテル・旅館及びインターネットで販売。
- ・令和5年には「かるかん」の原料である大和芋の生産を大分県から受託。
- ・農業に参入して2年目、仕事の関係で訪れた東京都内の自然薯の専門店に自然薯の焼酎と出会い、その美味しさに感動。自らが生産した自然薯を使って焼酎を造るため、令和7年に杵の川酒造（長崎県諫早市）に製造を委託し、自社で販売するため、酒造販売免許を取得。「自然薯姫あさこ」の名称で販売を開始した。



<今後の経営展開の方向と課題>

- ・現在、竹田市で沖縄特産の「島らっきょう」「島とうがらし」の試験栽培に取り組んでおり、泡盛に代えて自社の自然薯焼酎に島とうがらしを漬け込んだ、コーレーグスの商品開発も検討している。また、新たに「むかご」を使った焼酎を造りたいとも考えている。
- ・農地所有適格法人の要件は満たしており、また、平成28年に認定農業者として認定を受け、将来的には農地の所有、保管倉庫の整備や農業機械の導入により、更なる規模拡大を考えている。

